

心肺蘇生法を体験して



射水市立小杉南中学校2学年

射水市医師会の医師や看護師、射水消防署の救急救命士や女性消防団員の方々を講師に迎え、心肺蘇生法実技講習会を行いました。命の大切さや救急車が来るまでの応急手当の手順を、実習人形やAEDトレーナーを使って学びました。実施後の感想を紹介します。



僕は今まで心肺蘇生法を知らなかったけれど、この体験をして自分が少しがんばることで、人の命を助けられることを学びました。実際にやってみるのはとても緊張しました。もしも、この人形が本物の人間だったら、本当に人口呼吸をしたり胸骨圧迫をしたりができるかなと不安に思ったりもしたけれど、その人が助かる可能性があるならば、全力で取り組むぞと思いました。

(1組 男子)

特に胸骨圧迫は力がいりました。初めはうまくいかなかったけれど、先生が「上から押した方がいいよ」とか「腕を伸ばした方がいいよ」とアドバイスをくださったおかげで、だんだんうまくできるようになりました。心肺蘇生法をする機会がないのが一番いいけれど、もしもの時に大切な家族や友達を守れるようになりたいと思いました。

(1組 男子)



胸骨圧迫はなかなか難しかったです。「30回ほどやってみよう」と言われてやってみたけれど、先生のお手本のようにはできなくて、腕がパンパンになりました。AEDは機械が使い方を言うのでスムーズにできたと思います。もしもの時のために、今日教えてもらったことはちゃんと覚えておきたいです。

(1組 女子)

今日は人形を使っての実習だったから、みんな笑ったりヘラヘラしたりしていたけれど、もし、本当に目の前で人が倒れていたらしっかりできるかなと思います。だから、真剣に話を聞いて教えていただいたとおりにするようがんばりました。もしもの時には、今日のことを思い出してがんばろうと思いました。

(2組 男子)





人命救助は、冷静になることが大切だということを学びました。今日は模型を使ったので落ち着いてできました。でも、実際の現場では、パニックになるとと思います。パニックのままでは、安全確認などを忘れて事故を起こしてしまいます。だからなるべく落ち着いて行動したいと思いました。

(2組 女子)

講師の方の話を聞いていると、いつ自分の近くで心肺蘇生法が必要なことが起こるか分からないから、人ごとではないと思いました。とても大事なことを教えてもらったので、絶対に忘れないようにしたいと思います。

(2組 女子)



私がこの講習会で学んだことは、心肺蘇生法をすることで助かる命があるということです。特に心に残っているのは、一人ずつ心肺蘇生法を体験した時のことです。初めのうちは、みんな楽しい感じで体験していましたが、講師の先生が、「しっかりしないと助かる命も助からないよ」と言ってくださり、「そうだな」と気が付きました。心肺蘇生法はとても大事だと思います。もしもの時には、今日教わったことを生かして助けたいと思います。

(3組 女子)



僕は今まで心肺蘇生法のやり方を知らなかったけれど、流れやコツを知ることができました。正確に素早く行うことは大変だと思います。でも、講師の先生から、「そんなにうまくできなくても、知っていれば何かできる」と言われたので、教えていただいたことをしっかり覚えておこうと思いました。

(3組 男子)



今日初めて体験して、いろいろ細かいことをしたり、他の人と協力したりしないといけないことが分かりました。本当にそのような場面に出会ったら、今日教えてもらった通りにできるのか少し不安になったけど、指導していただいた先生に、「みんなすごくうまかったよ」と言っていただいて自信になりました。もしものことが起きた時は、今日のことを思い出してできたらいいなと思います。

(3組 男子)

